



2020年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月10日

上場会社名 メディアファイブ株式会社
 コード番号 3824 URL <http://www.media5.co.jp/>

上場取引所 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上野 英理也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 河野 活

TEL 092-762-0555

四半期報告書提出予定日 2019年10月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第1四半期の連結業績(2019年6月1日～2019年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第1四半期	357	0.1	14		14		13	
2019年5月期第1四半期	357	6.2	3		2		43	

(注) 包括利益 2020年5月期第1四半期 13百万円 (%) 2019年5月期第1四半期 2百万円 (63.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第1四半期	13.96	
2019年5月期第1四半期	49.88	48.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第1四半期	633	449	70.9	477.77
2019年5月期	650	452	69.6	501.27

(参考) 自己資本 2020年5月期第1四半期 449百万円 2019年5月期 452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期		0.00		10.00	10.00
2020年5月期					
2020年5月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	783	9.0	29		28		22		24.25
通期	1,589	11.1	49		45		35		37.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年5月期1Q	986,000 株	2019年5月期	949,600 株
期末自己株式数	2020年5月期1Q	46,000 株	2019年5月期	46,000 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年5月期1Q	931,582 株	2019年5月期1Q	863,600 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、[添付書類] 2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米国と中国の貿易摩擦に伴う世界経済の鈍化や深刻さを増す国内の人手不足等を背景に業況感の悪化が見られるなど、景気は先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス業界におきましては、IT関連投資は引き続き活発であるものの、企業においては容易に人材が獲得できなくなっていることによる人手不足感が広がっていることに加え、業界内での転職者数は増加傾向にあり、人材の確保および定着の面において非常に厳しい環境でありました。

このような環境の中、当社グループでは、中期経営計画「進撃のエンジニア2022」で掲げておりますとおり、人材の確保と定着のための待遇改善やITエンジニアの技術的ニーズを満たすための社内勉強会の開催を通してより強固な技術力を身につける場を提供し、エンジニアの満足度を満たすことに注力しております。

加えて子育て世代の両立支援をはじめ、誰もが働きやすい職場づくりの一環として「メディアファイブ保育園薬院」の運営も行っており、地域貢献度の向上にも寄与しております。

主要事業であるソリューション事業B to Bソリューショングループ及びソリューション事業運用・サポートグループは、ITエンジニアの確保が難しい状況の中、育成したITエンジニアの就業先の確保や、新規取引先及び既存取引先における契約単価交渉を行ってまいりました。

ソリューション事業B to Cソリューショングループは、前連結会計年度に引き続き、安定的にシステム開発案件を受注しております。引き続き、中小企業のITを支援する「OFFICE DOCTOR」サービスを軸にワンストップ型ソリューション提案を推し進めております。

工事関連事業は、内装工事等の案件を安定的に受注しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高357,485千円（前年同四半期は357,751千円）、売上総利益128,040千円（同135,357千円）、営業損失14,655千円（前年同四半期は3,638千円の営業利益）、経常損失14,670千円（前年同四半期は2,734千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失13,007千円（前年同四半期は43,078千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。）

①ソリューション事業B to Bソリューショングループ

ソリューション事業B to Bソリューショングループは、高度IT人材の育成、技術力向上に注力するとともに、技術に見合った契約単価交渉や戦略的な配置転換を行ってまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は228,399千円（前年同四半期は236,589千円）、セグメント利益は38,481千円（同58,360千円）となりました。

②ソリューション事業運用・サポートグループ

ソリューション事業運用・サポートグループは、東京地区を中心に、大規模な基幹システムの運用・サポート業務に従事しており、高スキルに見合った契約単価交渉を行ってまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は83,844千円（同62,241千円）、セグメント利益は14,384千円（同14,099千円）となりました。

③ソリューション事業B to Cソリューショングループ

ソリューション事業B to Cソリューショングループは、前連結会計年度に引き続き、安定的に中規模・小規模のシステム開発案件を受注しております。また、中小企業のITを支援する比較的ライトな「OFFICE DOCTOR」サービスは、取引社数・取引金額ともに増加しております。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は22,114千円（同23,755千円）、セグメント利益は3,767千円（同5,737千円）となりました。

④工事関連事業

工事関連事業は、福岡県の各種テナント・賃貸ビル等の内装工事・外装工事を中心に事業を行っております。当第1四半期連結累計期間は、既存先への提案型営業を強化し、新規案件獲得の動きに注力いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は23,197千円（同33,793千円）、セグメント損失は719千円（前年同四半期は4,180千円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産の状況

(資産)

資産合計は633,170千円(前連結会計年度末は650,990千円)、うち流動資産514,118千円(同534,703千円)、固定資産119,051千円(同116,287千円)となりました。

その主な内訳は、流動資産については現金及び預金304,456千円(同369,535千円)、売掛金168,178千円(同145,162千円)等です。固定資産については、有形固定資産18,920千円(同18,881千円)、無形固定資産1,229千円(同1,368千円)、繰延税金資産34,386千円(同30,513千円)、敷金及び保証金33,978千円(同34,192千円)等です。

(負債)

負債合計は184,068千円(同198,046千円)、その全額が流動負債であります。

その主な内訳は、賞与引当金42,355千円(同一千円)、未払費用28,430千円(同100,787千円)、未払金27,062千円(同22,313千円)、預り金25,907千円(同15,183千円)、買掛金25,320千円(同8,241千円)等です。

(純資産)

純資産合計は449,101千円(同452,944千円)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年7月12日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	369,535	304,456
売掛金	145,162	168,178
仕掛品	980	21,616
原材料及び貯蔵品	423	556
未収入金	9,251	7,471
前払費用	8,412	8,027
その他	3,611	6,110
貸倒引当金	△2,674	△2,297
流動資産合計	534,703	514,118
固定資産		
有形固定資産	18,881	18,920
無形固定資産	1,368	1,229
投資その他の資産		
長期前払費用	12,041	11,842
敷金及び保証金	34,192	33,978
従業員に対する長期貸付金	13,274	12,678
繰延税金資産	30,513	34,386
その他	6,014	6,014
投資その他の資産合計	96,037	98,901
固定資産合計	116,287	119,051
資産合計	650,990	633,170
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,241	25,320
未払金	22,313	27,062
未払費用	100,787	28,430
未払法人税等	22,632	2,475
未払消費税等	14,344	21,633
賞与引当金	-	42,355
前受金	14,452	10,751
預り金	15,183	25,907
その他	89	131
流動負債合計	198,046	184,068
負債合計	198,046	184,068

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	189,825	198,925
資本剰余金	155,525	164,625
利益剰余金	116,417	94,374
自己株式	△8,823	△8,823
株主資本合計	452,944	449,101
純資産合計	452,944	449,101
負債純資産合計	650,990	633,170

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
売上高	357,751	357,485
売上原価	222,393	229,444
売上総利益	135,357	128,040
販売費及び一般管理費	131,719	142,695
営業利益又は営業損失(△)	3,638	△14,655
営業外収益		
受取利息	114	99
保育事業収益	8,145	8,293
雑収入	92	247
営業外収益合計	8,351	8,639
営業外費用		
保育事業費用	9,255	8,654
営業外費用合計	9,255	8,654
経常利益又は経常損失(△)	2,734	△14,670
特別利益		
投資有価証券売却益	58,906	—
特別利益合計	58,906	—
特別損失		
固定資産除却損	2	—
特別損失合計	2	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	61,638	△14,670
法人税、住民税及び事業税	5,306	2,208
法人税等調整額	13,254	△3,872
法人税等合計	18,560	△1,663
四半期純利益又は四半期純損失(△)	43,078	△13,007
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	43,078	△13,007

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	43,078	△13,007
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,223	—
その他の包括利益合計	△40,223	—
四半期包括利益	2,854	△13,007
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,854	△13,007
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。